

「食介護」を山形から

療養者の家族に「食介護」について説明する池田百合子室長(左)と山形市内

ことし3月に事業をスタートさせたばかりの「栄養支援室あにしゅ」(山形市)は、退院後の療養者宅を訪問し、食生活のサポートに取り組んでいる。「食べることが困難な療養者だけでなく、その家族をサポートし、負担を軽減したい」と池田百合子室長。目指す姿は「地域のかかりつけ栄養士」だ。

「あにしゅ」では在宅での食指導、他、家族やホームヘルパー、施設スタッフなどを対象にした講習会も開催している。助成を受けたエプロンやスプーンは、その際の疑似体験用の道具として活用する方針だ。秋葉恵理事業統括マネジャーは「同様の取り組みはまだ

少なく、山形から『食介護』の取り組みを発信したい」と話している。

